

創世ホール通信No. 301

催し案内 + 文化ジャーナル
2020年2月1日発行 ■北島町立図書館・創世ホール
電話：088-698-1100 ファクシミリ：088-698-1180
〒771-0207 徳島県板野郡北島町新喜来字南古田91



人形劇団べんべろべえ公演 2月6日(木) 午前11時

会場：2階 ハイビジョンシアター 入場無料

対象：就学前の子ども 赤ちゃんも大歓迎

演目：「チーズがたべたい、ねずみくん」 ほか

問合せ：人形劇団べんべろべえ

(代表：兵頭 ☎088-698-6652)

■人形劇団べんべろべえは、北島町で活動しているアマチュア人形劇団です。手作りの人形たちによる心温まる劇をお楽しみください。

短編映画「ぞめきのくに」上映会 2月23日(日) ①午前10時30分 ②午後2時

会場：2階 ハイビジョンシアター 入場無料

作品：『ぞめきのくに』(約25分)

(監督：友利翼 脚本・音楽：川人千慧)

キャスト・スタッフによるトークショーあり(約30分)



物語 ■東京出身の女子高生、未紗。両親の離婚で、母親の故郷、徳島県(北島町)に引っ越してきた■慣れない方言や習慣。そして、毎夜風に乗って聞こえてくる不思議な祭囃子『ぞめき』■ひょんなことから阿呆連の練習に参加するうち、未紗の心の中でだんだんと、何かが大きく変わっていく。

内容 ■令和元年夏、北島町でもロケが行われた阿波踊り映画『ぞめきのくに』の上映会を開催します。

この作品の脚本・音楽は北島町出身の川人千慧さんが手掛けられ、当日は女優の葉月ひとみさんやスタッフをお迎えしての制作秘話もあわせてお楽しみください。

3・11映画祭in徳島2020 『チェルノブイリ—CHERNOBYL—』上映会

3月8日(日) ①午前10時30分 ②午後2時

会場：2階 ハイビジョンシアター 入場無料

上映作品：『チェルノブイリ—CHERNOBYL—』

(配給元：ワーナー・ブラザーズ ホームエンターテイメント)

■1986年に起きたチェルノブイリ原発事故。実話に基づいてリアルに描かれた緊迫の5時間の物語■歴史上最悪の人災を衝撃的かつ感情を揺さぶる物語として描き出す。■HBO製作の全5話のミニシリーズドラマ。1話と2話を上映します。

© 2019 Home Box Office, Inc. All rights reserved.HBO® and related channels and service marks are the property of HomeBox Office, Inc.



創世ホール文化講演会 南伸宏(南伸坊)講演会

3月22日(日) 午後2時30分

会場：3階 多目的ホール 入場無料

講師：南伸宏/南伸坊

(みなみのびひろ/みなみしんぼう)

(イラストレーター・装丁デザイナー

・エッセイスト)

演題：「南伸坊が語る私のイラストレーション史」

主催：北島町立図書館(☎088-698-1100)

■漫画・ロック・特撮・SF・幻想文学…現代に至るまでのサブカルチャーについて、当館は過去に様々なテーマで講演会を開催してきた。■今回はイラストレーター、装丁デザイナー、エッセイストとして多方面で活躍されている南伸宏(南伸坊)氏をお招きし、戦後日本のイラストレーション史を俯瞰した講演をしていただく。■南氏が深く敬愛する和田誠氏、師匠の赤瀬川原平氏、長年編集に携わり無二の個性を持つ作家を多く輩出した『月刊漫画ガロ』など、60年代~80年代の活気と熱気の渦巻く文化・芸術シーンのなかで綺羅星の如く輝く表現者たちの人と作品について語っていただく。■講師先生のご意向により、創世ホール元館長・小西昌幸氏が聞き役となり、対話形式で行います。皆様、多数ご参集ください。

速報★今年も開催決定★ 笑福亭たま&旭堂南湖二人会⑬

3月29日(日) 午後2時30分

会場：2階 ハイビジョンシアター

出演：笑福亭たま(しょうふくてい・たま/上方落語家)

旭堂南湖(きょくどう・なんこ/上方講談師)

演目：落語(笑福亭たま)「猫と金魚」ほか一席

講談(旭堂南湖)「清水次郎長外伝」ほか一席

入場料：大学生・一般 前売1,500円/当日2,000円

小中高校生 前売1,000円/当日1,500円

主催：たま・南湖二人会実行委員会

文◎化◎ジ◎ャ◎ー◎ナ◎ル

「創世ホール通信」300号◎達成

●「創世ホール通信」が、先月発行号(2020年1月号)で通算300号に達しました。徳島新聞や朝日新聞の取材を受けました●どんな形で掲載されるかは現時点で不明ですが、過去には100号、250号の達成時にも記事にいただいています●「創世ホール通信」版下製作の現状は、オモテ面のイベント情報を職員のおさん、ウラ面「文化ジャーナル」を元館長の小西昌幸が担当しています。

2月、3月の創世ホールの催し

◎短編映画「ぞめきのくに」上映会

●2020年2月23日(日)①10時30分～ ②14時～ 2階ハイビジョン・シアター 入場無料●北島町や藍住町や徳島市東新町や徳島県立城之内中・高等学校で撮影が行なわれた短編映画の上映会が実現●監督:友利翼【ともり・つばさ】 脚本・音楽:川人千慧【かわひと・ちあき】 撮影:地村俊也 助監督:清本章太 出演:葉月ひとみ、美紗央、北島愛子、立川真千ほか 2019年、カラー、25分●脚本と音楽担当の川人千慧さんは北島町江尻出身(北島南小学校～北島中学校～徳島北高校～京都大学卒)。北島中学校時代に北島町の第1回国際交流研修事業に参加し英国ウェールズでのショートステイ経験あり●北島町まちみらい課が撮影協力団体のひとつとしてクレジットされている●映画では、鯛浜橋と平行して存在する今切川河口堰が重要なモチーフとなって映し出されるほか、藍住町の田園風景も登場する●阿波踊りは阿呆連の全面協力で、学校での撮影は城之内中・高校●おりしも北島町は、町制施行80周年を迎えており、本作の上映会もそれにふさわしい催しといえよう。また北島町出身の異才映画人・川人千慧さんの凱旋記念上映会としても位置付けられる●本作は、昨(2019)年11月23日に開催された神山町での「4K・VR徳島映画祭」に出品され、「あわ文化振興部門」の映像賞を受賞している●これまで、徳島県内では神山の映画祭でのみ上映されており、それを見ることがかなわなかった町民やロケ関係者からの上映希望が多く寄せられていた●映画祭以降の徳島県内一般上映では、北島町が初お披露目となる●しかも各回の上映後には、川人さんの司会進行で、監督や主演女優さんなどによるトークもある(30分程度を予定)●映画鑑賞のほか監督や主演女優さんたちを生で間近に見ることができて、しかも入場無料! 絶対お得というものだ●関心ある人はお見逃しなきよう、多数ご参集下さい。

◎南伸宏(南伸坊)講演会「南伸坊が語る私のイラストレーション史」

●3月22日(日)14時30分～ 3階多目的ホール 入場無料●私(小西)は、鳴門高校3年のとき(1973年、47年前!),『月刊漫画ガロ』の黒ベタの多い異世界の漫画作品に魅了され、『美術手帖』の赤瀬川原平「資本主義リアリズム講座」を夢中になってむさぼり読むような日常を送っていた。やがて『現代の眼』という雑誌の新年号付録で「現代論壇地図」として展開されたフシギ～な人脈図と膨大な



鳴っていた。17歳、夏。



笑福亭たま・旭堂南湖◆二人会 13

猫と金魚 ほか1席 清水次郎長外伝 ほか1席

笑福亭たま たます

旭堂南湖 たま

2月29日(日)午後1時半

2階ハイビジョン・シアター

2020年2月29日(日)午後1時半 2階ハイビジョン・シアター

登場者の似顔絵の一大迷宮の存在にも気が付き、心躍らせた●そんな私は社会人になって、必然的に路上観察学会の動向と著作、宮武外骨の人と仕事などにも興味が広がっていった。日常生活の文化面には、長井勝一や松田哲夫や美学校といった固有名詞が、ずっとついて回ることになる。これらすべてに南伸宏さんは、様々な形で関わっているのであった●南さんは、イラストレーター、装丁家、エッセイスト。1947年6月生まれなので今72歳。糸井重里ととても仲の良い間柄(70年代に糸井さんを『ガロ』に登場させている)●昨年(2019年)、亜紀書房から刊行された南さんの著作『私のイラストレーション史』が抜群に面白かった。それで、その内容をお話ししてくださいと頼み込んで、講演会が実現することになった。同書は南さんの少年時代から1980年代初めまでのご自身の半生記・クロニクルを戦後日本のイラストレーター&イラストレーション史と絡めて綴った内容で、これがもう、ベラボウに面白い書物なのだった。通奏低音として本書全体に響いているのは、和田誠さんへのオマージュである。和田さんの仕事と人柄への深い敬愛がごく自然に各頁からあふれているのだ●チラシを作るとき私は、ウラ面の図版で悩みに悩んだ。上段に南さんが関与した書籍・雑誌を配置。南さんが装丁デザインした本、南さん編集時代の『月刊漫画ガロ』、南さんが表紙イラストを担当された時期の『ヤングコミック』を並べた●そして下段に和田誠さん関係のものを配置することにした。『COM』や『週刊文春』は小西所蔵のもので何とかできるが、1960年代の『話の特集』や単独の代表作品集をどうするかは課題だった●いつものように私は、阿波市市場町のサブカル王・岡田浩司さんのお知恵を借りようと考え、電話で相談してみた。そうしたらズバリ的中で、岡田さんは『話の特集』を大量に保管しておられたのだった。

創刊時点はまだ思春期前後だったので、買い始めたのは少したってからだが、1960年代のものが処分されずに大量保管されているのだから尊いことだ。それだけでなく、岡田さんは、和田さんの作品集『和田誠百貨店』(1巻、2巻)や南さんの本も所有しておられたのだった。やはり凄いと思う。●チラシ・オモテの図版も悩んだ。『私のイラストレーション史』書影を使うことは確定していたが、もう一つの図版で南さんのおにぎり頭を描いたしゃれたイラストをどうしても配置したかった。結果的に文庫版『南伸坊の絵と文』の書影の一部を使った●今回は青林工藝舎さんの温かいご配慮で、同舎のホームページにチラシ画像等を掲載。大々的に宣伝して下さっている。ありがとうございます●3月に入ったら、当館1階の図書館カウンター前で、ガラスケースとパネルボードに講演会の関連資料を展示する予定なのでお楽しみに。そして南伸宏先生講演会「南伸坊が語る私のイラストレーション史」に多数ご参集ください!

◎笑福亭たま・旭堂南湖二人会 13

●3月29日(日)14時30分～ 2階ハイビジョン・シアター 大学・一般/前売1500円(当日2000円)、学生(小・中・高)/前売1000円(当日1500円)●恒例の「笑福亭たま・旭堂南湖(きょくどうなんこ)二人会」の第13回を開催します。今回の演目は、上方落語家・笑福亭たまさんが「猫と金魚」ほか1席、上方講談師・旭堂南湖さんが「清水次郎長外伝」ほか1席●たま・南湖二人会は、町予算なしでずっと続けている当館の伝統行事です。入場料の売り上げがそのままお二人のギャラ(交通費その他経費含む)になるシステムです。すっかり売れっ子になったお二人ですが、ずっと創世ホールに来てくださっているのです。多数ご参集ください!【一部敬称略/全文執筆=小西昌幸】